

果樹病虫害発生予察調査結果（8／26調査分）  
（三条、加茂、田上地域）

8月26日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

**（共通）**

- ナシヒメシンクイの誘殺数が増加傾向です。例年、**9月上旬**が誘殺ピークとなります。収穫期に近い品種へのドリフトに注意しながら、定期的な防除を継続しましょう。
- 一部で、**ハダニ類**の発生が確認されています。9月中旬頃までに、主幹や主枝基部に古布や古新聞を巻き付け、2月中旬までに外して処分するバンド誘殺を行い、越冬数を減少させましょう。ナシヒメシンクイ等にも有効です。
- 台風10号の進路に注意し、荒天になる前に防風・排水対策を実施しましょう。

**（ナシ）**

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- **セイヨウナシ褐色斑点病**は発生が増加しており、落葉が多数確認された園地もあります。次年度の菌密度を下げるため、満遍なく薬剤がかかるようSSの走行路に注意し、ほうき枝となりそうな徒長枝は、8月末までに整理しましょう。
- 一部で、**黒星病**の発生が確認されています。発生量の少ない状態が続いていますが、暑さが落ち着くと多発生が懸念されます。り病葉・り病果を確認した場合は早期に除去し、感染拡大を防ぎましょう。

## (モ モ)

調査地点ごとに5新梢を調査しました。

- せん孔細菌病は全調査園地において、新梢葉への発病が確認されており、落葉が始まっている園地もあります。秋季感染は翌春の春型枝病斑の増加につながるので、収穫後防除を実施し被害防止に努めましょう。

## (ブドウ)

調査地点ごとに100葉、100果房を調査しました。

- 一部でチャノキイロアザミウマによる加害や褐斑病の発生が確認されています。確実に防除を実施し、被害防止に努めましょう。

次回調査は9月10日(火)を予定しています。

|                    |
|--------------------|
| 担当 : 中越支所 果樹共済係    |
| TEL : 0258-36-8105 |
| FAX : 0258-34-8020 |